

つバラツキが著しく大きい。③ 屋外自然乾燥では、温度、湿度、風速、輻射熱等の効果が総合的に発揮されるために、試験地においては、年間を通じて、乾燥時間に季節的な差異はみとめられなかった。④ モーター使用による(600W)脱水乾燥機の乾燥の効率は、晴天時の屋外乾燥の場合に略々必適することをみとめた。

B-83 家庭用脱水機および乾燥機の性能に関する研究(第3報)

脱水機使用によるもめん衣料の自然乾燥所要時間の計測

三重大 薄田 京子

1. 家庭用脱水機および乾燥機の性能について、実用的見地から、もめん衣料品の遠心脱水3分後およびローラー脱水後の屋外および屋内における自然乾燥所要時間を各種天候条件のもとに、1年間にわたって計測した。
2. 被検布は平織綿布としてシーツ、ひとえ長着、添毛組織厚地タオル、W・W加工ワイシャツなど、織物の構成、加工および形態の異なる4種の衣料を用いた。使用機器は、家庭用標準型脱水乾燥機、2槽型脱水洗たく機、洗たくそう兼用脱水洗たく機である。
3. ① 屋外乾燥条件を決定する第一の要因は、脱水後の試料の含水率である。遠心脱水機の使用は、ローラー脱水に比べ、乾燥時間を短縮する上で極めて効果的である。② 脱水効果が高く、かつ脱水率のバラツキが少ない脱水機ほど、乾燥時間を短縮することができる。供試機種のうち、脱水乾燥機の性能は最もすぐれ、2槽型はこれより若干劣る。兼用型は脱水効果が最も低く、か